

衆女は人おもしろくはるる津の里は不
 しりよよすうれ強き家々をよなりと
 ひよかたひは重今時た純美乃形女
 と紙細工せらわよお虫塚のこころな
 島中よ女筆やてもまよころの芝居子打す
 るとよおありしきおのあしはあひ
 ハ娘しきころめ衆花路りかろくも
 つけりよ大はた橋のまゝくの人を
 んえよころよあは

其月告白

一四



新注文石

初巻目録

一巻

一 世帯は大事の月仕奉

此分尾よんせぬぞは年乃を
 子屋あけても倍換のゆるぎ

二 衆花乃引込

此分尾よんせぬぞは年乃を
 子屋あけても倍換のゆるぎ

三

百二十里し和を拾遺書

日かげの江戸とて今も今も
いづきの水見見切目よ拾遺書

四

集十九日し業裡歌三

おのの海とていづとて
おのそびに野良とて名難所也

一世第れた事い四月は舞

十月九日の事申候書十は場りあ十三日よく

しつと拾遺しとていづとて大つと拾遺書は舞

いさこれいづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

いづとていづとていづとていづとていづとて

拾遺書 一 三

年々人々子孫を由りて其の遺り進歩年々
は業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を
其の業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を
其の業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を

神々の業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を
其の業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を
其の業のむかひ分けて年々世に儀成りむかひの
たのむがりて其の由りて其の業を